



24 バングラデシュ

大ダッカ圏 電話網整備事業(2)

電話網の近代化を通じ
通信サービスの改善を達成

承諾額／実行額 147億6,100万円／136億4,000万円
 借入契約調印 1992年5月
 借入契約条件 金利1%、返済30年(うち据置10年)、部分アンタイド
 貸付完了 2003年2月
 実施機関 電信電話庁 URL: <http://www.bttb.net.bd/>



本事業の目的

大ダッカ圏南部において、電話交換施設および局外施設を更新・増設することにより、積滞需要の解消および通信事情の向上をはかり、バングラデシュの経済活動活性化に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) 評価a

本事業によって電話回線数は約14万回線(計画比146%)増設された。電話普及率(全土)は100人あたり0.8台(計画比222%)となり、当初目標値は達成されている。本事業は通信サービスをより広範に提供することに貢献している。ただし、携帯電話、固定電話による通信サービスへの需要は年々高まっているため、大ダッカ圏の積滞数(電話加入は申請されているが、サービスが提供されていない回線数)は事業実施前に比べ増加している。本事業の結果、固定電話を通じた海外就労者との密な連絡を実現し、屋内にこもりがちな女性や老人の情報入手が可能になった。また、企業においては、企業内の構内交換設備によって固定電話回線を有効活用できることが認識されていた。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) 評価a

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。審査時

点では、固定電話需要と供給の差が大きく、固定電話回線の増強が課題となっていた。一方、事後評価時点では、多様な通信サービスの提供が政策・施策となっており、通信サービスの基盤となる固定電話網の整備は引き続き重視されている。

事業実施の経済性(効率性) 評価b

本事業は、事業費についてはほぼ計画通りであったものの、期間が計画を大幅に上回った(計画比215%)ため、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延のおもな要因としては調達の遅れが挙げられ、スペアパーツの安定供給が期待される機材に切り替えたことがその背景にある。

今後の展望(持続性) 評価b

本事業は、財務面において実施機関の減収が続く一方で、支出増加が続いている点が課題となっているものの、収入は支出を超える状態にあり、持続性は概ね問題ないと評価される。また、本事業にて調達された交換機のほぼすべてが使用されている。

結論と教訓・提言

以上より、本事業の評価は高いといえる。実施機関はコスト構造を明確に把握しておらず、経営の効率化の観点から改善が望まれる。また、サービス向上の観点から、不透明な料金徴収への対応や断線等の回線修復への早期対応が望まれる。

受益者調査結果
電話利用がもたらす裨益(複数回答可)

	加入世帯(%)	加入企業(%)
情報へのアクセス	64	62
情報交換	22	23
より良いネットワーク	19	35
情報取得	7	17
時間節約	84	91
交通費用の節約	66	69

開発途上国専門家の意見

大ダッカ圏のめざましい経済成長に伴う通信設備の質的および量的需要の拡大に対応した本事業の意義は大きい。より効率的な通信が可能となり、さまざまな分野の産業発展への貢献が期待される。

専門家の氏名: Mr.Mir Nasir Hossain(民間)
 ダッカ大学修士号(商学)。現在は、バングラデシュ商工会議所連合会会長。専門はビジネス。